

空き家相談会アンケート結果

1 相談者の年齢

- ・空き家を相続する年齢層である60歳代以上が大半を占めた。
- ・一番若い年齢層は、40歳代であった。

2-1 相談対象の建物の利用状況

(1) 利用状況

- ・建物を売却しようとしている方が多かった。
- ・相談者が管理しているものがある一方で、そのまま放置しているものもあった。
- ・現在、相談者や親族が居住しているが、今後空き家となる可能性がある建物についての相談もあった。

(2) 利用頻度

- ・ほぼ毎日利用している方がいる一方で、月に1回から2回程度の利用にとどまる方もいた。
- ・どの程度の頻度で利用しているのかを把握していない方もいた。

3 相談会に参加した理由

- ・相談会に参加する理由として最も多かったのは、「建物の処分等が進まない」ためであった。
- ・「建物の劣化」や「維持管理が負担」との理由で、相談会に参加された方も多かった。
- ・「建物の処分等が進まない」と回答した方で、「建物の劣化」や「維持管理が負担」であると考えている方もいた。
- ・家族や友人に誘いや知り合いからの勧めで参加された方もいた。
- ・今後どうするのがいいのかを知りたいとの理由で参加された方もいた。

4 相談会を知ったきっかけ

- ・本市ホームページ、チラシや広報とくしまなど、本市の広報媒体から知った方が多かった。
- ・知人からの紹介がきっかけの方もいた。
- ・本市へ空き家のことについて相談があったときに、市職員から相談会のことを聞いたことがきっかけで相談会に参加された方もいた。

5 相談会の内容について

- ・相談会の内容について、相談者の反応は概ね好評であった。
- ・「不満」や「大変不満」との回答はなかった。

6 相談会の時間（30分）について

- ・「普通」との回答が多かった。
- ・その一方で、「やや短い」や「短い」との回答もあった。
- ・「5」で「大変満足」や「満足」と回答した方が、「やや短い」や「短い」との回答をしている方が多かった。

7 相談会を受けての今後について

- ・この相談会を受けて、「まずは建物内の片づけを行いたい」や「もっと詳しく調査をしようと思う」など、ほとんどの相談者が具体的に何らかの行動を起こしたいとの考えを示した。

8 その他の意見

- ・相談時間が短いとの意見があった。
- ・専門団体の位置づけや業務内容がわかる資料を提供してほしいとの意見があった。

以 上